ベネッセハウス ミュージアム 写真:鋤持方人

自然と共生するアート

「自然・建築・アートの共生」をコンセプトとし、美術館とホテルが一体となった「ミュージアム」。アート作品は、展示スペースだけでなく、施設をとりまく海岸線や林の中など、至る所に点在しています。

ベネッセハウス テラスレストラン 写真:藤岡みきこ

テラスレストラン 料理

テラスレストラン

「パーク」に併設する瀬戸内海に面した大きな窓と高い天井が特徴の、解放感あるレストランです。夕食時には暮れゆくの光の映り変わりの中でフランス料理を、朝食時にはまばゆい朝日の中で洋朝食を、お楽しみ頂けます。

ベネッセハウス ミュージアムレストラン 写真:鈴木研一

ミュージアムレストラン 日本料理 一扇

「ミュージアム」にある大きな開口をもつ店内からは、どの席からも瀬戸内海と現代アートを鑑賞できます。昼食時、夕食時ともに、瀬戸内の海の幸を素材にした季節感あふれる料理をお楽しみ頂けます。

知識に富んだアートガイド

直島全体に点在する多くの作品を、自分の足で巡り、自分なりに鑑賞するのも旅の一つですが、このプランでは、プライベートガイドが見どころをおさえてしっかりご案内します。訪れる方がより深い体験を得られるよう、直島や近隣諸島でアート活動を続けるベネッセアートサイト直島のこれまでの取り組みや歩みもお伝えしながら、主要施設を巡ります。

草間彌生「赤かぼちゃ」2006年 直島・宮浦港緑地　写真／青地 大輔

草間彌生「赤かぼちゃ」

直島の入り口である宮浦港で人々を出迎えるのは、島のシンボル「赤かぼちゃ」。『太陽の「赤い光」を宇宙の果てまで探してきて、それは直島の海の中で赤カボチャに変身してしまった』と草間彌生自身が詩の一部で語った作品です。